

北陸新幹線(敦賀・大阪間)の整備促進に関する

要 望 書

令和2年11月

関西広域連合
京 都 府
大 阪 府
関西経済連合会
福 井 県

北陸新幹線（敦賀・大阪間）の整備促進に関する要望書

北陸新幹線は、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすとともに、東北・北陸・関西・山陰などをつなぐ日本海国土軸の形成に必要不可欠な国家プロジェクトである。

敦賀・大阪間については、平成29年3月に全区間のルートが決定され、現在、環境アセスメントが進められているところであるが、国土交通省によると、新大阪駅までの全線開業時期は、約30年後の令和28年となっている。

しかし、北陸新幹線の開業効果を早期に発現させるためには、現在建設中の金沢・敦賀間について、令和4年度末までの開業を確実に実現し、中断なく、敦賀・大阪間の1日も早い着工と新大阪駅までの全線開業が不可欠である。

については、政府・与党において、北陸新幹線の整備促進に関する次の事項を実現するよう強く要望する。

1 金沢・敦賀間の早期開業と中断なく敦賀・大阪間の1日も早い着工

現在建設中の金沢・敦賀間について、令和4年度末までの開業が確実に実現するよう整備を促進するとともに、中断なく、敦賀・大阪間の1日も早い着工を実現すること。

2 環境アセスメントの丁寧かつ迅速な実施及び建設財源の確保

沿線地域の意見を踏まえながら、環境アセスメントを地元調整も含め丁寧かつ迅速に進め、これと並行して、早期に建設財源を確保するとともに、環境アセスメント終了後、切れ目ない着工のもと、敦賀・大阪間について一気に整備し、全線開業を1日も早く実現すること。

3 新大阪駅における駅位置の早期確定及び駅機能の強化

広域交通ネットワークの一大ハブ拠点としての役割が期待される新大阪駅については、今後、駅周辺地域のまちづくりの検討を具体化し、駅の機能強化を図るため、地域の理解を得つつ関係者と連携して、まちづくりや利用者利便性等を考慮した駅位置を早期に確定すること。

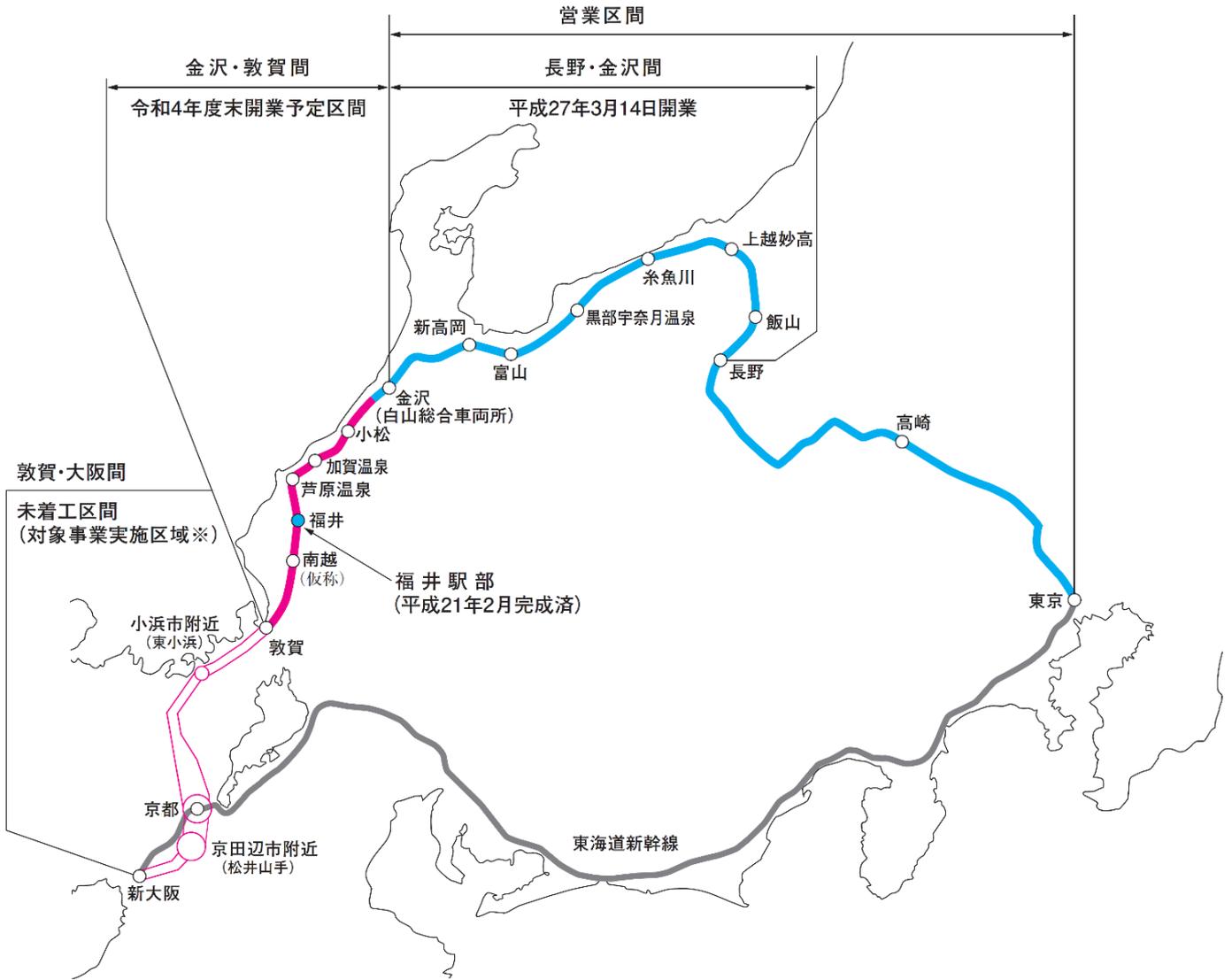
4 全線開業までの間における敦賀駅での乗換利便性の確保

新大阪駅までの全線開業までの間、敦賀駅において新幹線と特急との乗換が生じることから、北陸・関西間の円滑な流動性を確保するため、既存の運行計画にも配慮しながら、乗換利便性の確保を図ること。

令和2年11月24日

関西広域連合	
京都府	広域連合長 井戸敏三
大阪府	知事 西脇隆俊
公益社団法人関西経済連合会	知事 吉村洋文
福井県	会長 松本正義
	知事 杉本達治

「北陸新幹線」 駅・ルート図



※令和元年11月26日に鉄道・運輸機構が公表した環境影響評価方法書に示された概略の路線